

風雪に耐えて (その1)

— 熊本大学 (旧五高) —



＊ユース・ブレイン 県への提言を募集します!

熊本県では、これまでに、県民の皆さんの声を聞き、ご意見を県政に反映させるために、いくつかの公聴事業を行なってきました。

そのうちのひとつに、知事から直接お手紙をさし上げて、ご返事を頂き、更にもうひとつに、知事との書簡往復の形をとった「エコ・カード」の制度がありました。

本年度から、このエコ・カード制を一步進め、県民の皆さんから意見、要望を頂いた上で、有意義な意見をお寄せ頂いた方たちと、知事と、直接お話し合いをすることにしました。

特に、今年、明治百年という意義深い年でもあり、新しい熊本県を築くための、若い方たちの新鮮なご意見を期待して、20才から40才までの青年層を対象として実施します。そこで、この新しい制度を「ユース・ブレイン」(若い頭脳)と呼ぶことにしました。

熊本県をより発展させるためには、どんな方策が考えられるか。また、そのために、私たちは、今、何をすべきでしょうか。

新しい発展段階を迎えた熊本県政への、若々しい提言を募ります。

1. 応募資格

満年齢20才以上40才未満の熊本県内在住者に限ります。

2. レポート

- (1) テーマ 「熊本県発展のため、私はこう考える。」
- (2) 字数 400字詰原稿用紙5枚以内。

3. 送付先および締切期日

- (1) 送付先 熊本市出水町今915 郵便番号 862
熊本県総務部広報外事課「ユース・ブレイン」係あて
- (2) 締切期日 昭和43年9月10日

4. 意見交換

応募レポートによって、優れた意見を寄せられた方のなかから、10名を選び、2回にわけて知事を囲む意見交換会に出席して頂きます。

第1回目の意見交換会は

- (1) 期日 昭和43年10月17日
- (2) 場所 県庁内

とし、第2回目は本年度中に実施しますが、期日は未定です。

5. その他

- (1) 優秀なレポートを寄せられた10名の方には、記念品を贈呈します。出席の旅費は、県で負担します。
- (2) レポートには、本人の住所・氏名・電話番号・性別・年齢・職業(職業は、できるだけ具体的に書いて下さい。学生の場合は学校名)を明記して下さい。
- (3) 詳細については、近くの県事務所または市町村役場へ問合わせて下さい。